

プロフィール（肩書き 子どもが作る“弁当の日”提唱者）

竹下和男（1949年生まれ 香川県）

学歴 香川大学教育学部

職歴 香川県内の小学校 9年
香川県内の中学校 10年
香川県教育委員会 9年
平成12年度～綾川町立滝宮小学校 校長
平成15年度～高松市立国分寺中学校 校長
平成20年度～綾川町立綾上中学校 校長
平成22年度～フリーで執筆・講演活動



著書 『日本アンソロジー・安藤昌益』（光芒社・共著）2002年
『“弁当の日”がやってきた』（自然食通信社・共著）2003年
『台所に立つ子どもたち』（自然食通信社・共著）2006年
『始めませんか 子どもがつくる“弁当の日”』（自然食通信社・共著）2009年
『ひとりでお弁当を作ろう』（共同通信社・監修）2009年
『泣きみそ校長と弁当の日』（西日本新聞社・共著）2010年
『エダモンおすすめ ひとりでお弁当を作ろう』（共同通信社・監修）2011年
『できる！を伸ばす弁当の日』（共同通信社・編著）2011年
『ごちそうさま もらったのは命のバトン』（自然食通信社・共著）2012年
『一年生からお弁当を作ろう』（共同通信社・監修）2012年
『弁当づくりで身につく力』（講談社）2012年
『お弁当を作ったら』（共同通信社）2014年
『“弁当の日”はこうして始まった』（学校の食事研究会・共著）2015年
絵本『“弁当の日”がやってきた』（河出書房新社・原作）2015年
『食育最前線2 進化する“弁当の日”』（自費出版）2015年

報道等 『地域に根ざした食育コンクール2003』 農林水産大臣賞
『ごはんと笑顔フォトコンテスト』 読売新聞社賞
『第8回キッズデザイン』2014年8月 消費者担当大臣賞
ミラノ万博2015 日本館で“弁当の日”展示
毎日新聞「余録」産経新聞「産経抄」四国新聞「一日一言」
NHK ラジオ「ラジオビタミン」「いのちの対話」「つながるラジオ」
NHK テレビ「子ども週間ニュース」「土曜フォーラム」「四国羅針盤」「サキどり」
「となりの子育て」
フジテレビ「とくダネ!」「テレビ寺子屋」
日テレ「スッキリ」「NEWS every」

これまでの講演は、47都道府県にて通算で2200回突破。

“弁当の日”実践校は2018年度末 47都道府県約2300校。

滝宮小は18年目、国分寺中は15年目、綾上中は11年目と“弁当の日”は継続中。

私とともに“弁当の日”に取り組んだ卒業生は25～31歳に成長した。